

鷲別来馬川支流～川又温泉～511m地点 沢登り

平成 30 年 6 月 17 日（日） 曇り

参加者 C L 澤田、S L 河村、S L 小山内、山岸、酒井、笹山、鈴木、小笠原、門馬、太田、八重樫 11 名

6 : 30 （見晴し公園 11 名集合。）

6 : 30 車 3 台で目的地に向かう。

今シーズン初の沢登り。今日は誰もが行ったことのない川又温泉から上流を登り詰め、511m地点まで登る計画です。が、S氏の情報によると沢はとても荒れているとのこと。気温も低いのでどこまで行けるのでしょうか？

7 : 00 （川又温泉駐車場手前）

土砂崩れの為、通行止めになっている。すでに車 2 台あり。山菜採りでしょうか。



7 : 30 （川又温泉駐車場）

桂の大木の前で入念に準備体操を済ませ、歩くこと 20 分。



7 : 50 （入渓）

川の水は、思ったより冷たくないです。歩

き方は靴底全面を摺り足で歩くようにと指導あり。確かに流れの急なところでは足を持っていられるような感じがしました。

8 : 15～8 : 20 （体温調整の為の小休止）

8 : 25 （川又温泉）

テント二張りあり。若者 1 人、温泉に入り、気持ち良さそうにウトウトしていました。（朝湯・朝酒気分かな？）そこへ我がグループが温泉を囲むようにして湯の感触を確かめています。3 分間、とんだお邪魔虫でした。

8 : 40 （標高 250m 辺り）



二股分岐点に来たら、地図では右股より左股が広いので、左股に行くことに。

情報の通りで、倒木と土石の流れた痕跡が痛々しい。荒れてはいるけど、川の水はきれいです。

しばらくは、ほぼ平坦な河原を歩きます。

このような沢のことを「ブタ沢」と言うそうです。

9 : 10～9 : 15 （小休止）

歩き始めると、やっと沢らしい沢に入ってきたようで、皆の目が輝き出しました。ナメ床もあります。チョットした大岩をよじ登ります。カワガラスがあわてて飛び立っていました。

30 分ほど、登り詰めていくと、前方に 3～4 m の小滝が見えてきました。



9:50 (小滝)

S氏は待ちきれないとばかりに、ヒョイヒョイと登っていきます。続いてK会長。ここは安全の為、トップロープで一人ずつ登ります。



全員登り終えるまで20分。(寒くなってきたのでヤッケ着用)

10:10 (撤退)



ここで撤退することになりました。皆、身体が冷えてきました。今日のもう一つの難所である大岩を降り、気持ち良いナメ床を歩き、順調にブタ沢の河原に着きました。

11:00~11:25 (早めの昼食)



12:05 (川又温泉)

冷えた足を温泉に浸し、少し温まって、ここからは川を離れ、登山道を歩き、駐車場に向かいます。途中に、また、また、良い落がありました。ただでは帰れませんね。



12:25 (川又温泉駐車場着)

12:55 (見晴し公園解散)

自分にとっては、2度目の沢登りでした。

ドキドキ(緊張で)、ワクワクでしたが、先日の岩訓練に参加したこともあり、楽しく歩くことが出来ました。

次は暖かい日に、あのナメ床を歩きたいと

思います。

皆さん、ありがとうございました。

(記録 Y・A)